



もりの手紙

mo ri no te ga mi



森にこよう!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

NO 275 / 2020 (5・6月合併号)



日常の暮らしを早く取り戻せますように

contents

★総会案内

★6月例会案内：28日(日)

「湯来での集材」

..... 2

★4月里山部会報告：岩田

5月クラフト部会報告：本廣

..... 3

★新企画：樹木いきいき講座

：藤原

★安全の確保 mini(伐倒その2)

..... 4

★「この人」あり：本廣良一さん

★ひと枝：ツタウルシ

..... 5

★6月・各部の活動予定 他

..... 6

NPO 法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 会員継続及びご寄付のお願い!

私たちの活動は1997年に始まり、長年、里山の手入れは当然のことながら、「自然環境の保全」を多角的な視点で活動を展開しています。例えば、伐木を切り捨てず加工するシステムを作り、資源として材を有効利用することを他団体に先駆け、いち早く手掛けました。また、未来を担う青少年への森林環境教育も重要と考え、発足から約5年後には学校等への指導を初め、夢であった自主事業の「もりメイトキッズ」を創設。福祉施設の技能訓練に関わるなど、時代の変化や社会ニーズも踏まえた対応をしてきました。これらは、多くの市民に森の重要性を啓発する機会となっています。

さらに、整備技術の専門性を活かして広島県にしか生息しないヒョウモンモドキほか、多くの「希少生物の保護活動」にも力を入れています。

以上の様な活動を継続するには、皆さんのご支援が不可欠です。

～どうか、次の世代に向けた活動を一緒に応援いただければ幸いです。～

私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆中外工業株式会社
- ◆あいおいニッセイ同和損保株式会社
- ◆こだまクリニック
- ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲
- ◆イオングループ
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆湯来町 林クリニック

《毎年のご支援 誠にありがとうございます。協賛企業：順不同：敬称略》

もりメイト倶楽部
HIROSHIMA

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

みんなで森づくり 健康で生き生きした森を育てます。

森を育てる技術を磨く 森づくりを学び、日々実践・研鑽。

森を楽しみ森を味わう 人と森との関わりを拡げます。

森から学び森を伝える 森の恵みを活かし利用する活動。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
地域と共に、活動。技術安全研修を実施。

出前間伐

要請により、杉・桧の植林地の間伐・枝打ち・下刈りなど
手入れを行っています。

里山

雑木林や竹林の整備をはじめ炭焼きやしいたけ栽培など、
里山の恩恵を活かす文化を伝承しています。

クラフト

木を使うことは森を育てること。森のいのちを活かすこと。
間伐材など森の材を利用してベンチ制作や工作を指導。

環境教育研究

もりメイトキッズ等 森林体験教室の企画・実施
森の大切さ、守り方を伝えるリーダーを目指し、研究・実践。

令和 2 年度総会の書面表決のお知らせ

本年度は新型コロナウイルスの感染を巡り、第2波の予想等も含め、明確な先行きが見通せない状況は続いており、「収束傾向であっても大勢が集まる環境への不安が払拭できない」との多くの声がありました。理事会において協議の結果、今年度の総会については表決を委任する(委任状)方法により、理事と監事、班長のできる限り少人数の出席で総会を実施する事となりました。現状に鑑み、誠に残念ですが、不本意ながら致し方ありません。何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【日時】 令和 2 年 6 月 13 日 (土) 14 時 ~ 16 時

【場所】 合人社ウエンティひと・まちプラザ

- 【議事】 (1) 第一号議案 平成 31 年度 = 令和元年度事業報告案
(2) 第一号議案 平成 31 年度 = 令和元年度活動計算書案
(3) 第三号議案 令和 2 年度事業計画案
(4) 第四号議案 令和 2 年度事業予算案
(5) 第五号議案 役員の変更について
(6) 第六号議案 定款の変更

※正会員のみなさんには、6月号の会報と共に総会の資料と委任状の葉書を同封しています。6月8日(月)までに押印の上返信をお願いいたします。



6月例会行います!! ~いにしえの山の仕事を体験しよう partIV~

日時 : 6月28日(日) 第4日曜 【担当3班】

9時~15時少雨決行

作業場所 : 湯来町多田 ※湯来ロッジ9時00集合

持参物 : 山の道具・水筒・弁当

申込み : 参加者は6月22日(月)までに各班長へ連絡。

※ 例会運営担当3班の方、当日のリーダー担当の方は先に現地
で打ち合わせをします。8時30までに湯来ロッジ集合。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は

事務局へ電話かメールでご連絡下さい

《 090 6419 7531 : info@morimate-ch.com 》





新年度の幕開けは、雨の中での開催となりました（私は晴れ男なのですが・・・）。この日は、毎年恒例の地域貢献の水路清掃があり、朝早く5名が集まり、草刈りに3名、水路清掃に2名に別れてそれぞれ作業を開始しました。いつもなら、水路清掃が早く終わるのですが、草刈りが終わっても水路清掃が帰ってこない。おかしいと思い、山に上がると下山している3名に合流、「今回は楽ですね」と地元の人に話したところ、水路に土砂が詰り放題で、苦戦した様子、開口一番「きつかった」。「次回から水路清掃は5名体制をお願いします」と要請がありました。次回の水路清掃は8月2日が予定日ですが、お集まりいただき是非とも協力をお願い致します。



お疲れ様です。雨の中、草刈り作業の北野さん。



竹の窯入れ作業をする佐藤さん。

水路清掃終了後に、里山部会と合流。松村講師から竹の窯入れのレクチャーを受けながら、交代で2つの窯に竹を入れ、耐火レンガの隙間に泥で蓋をして終了。次回の火入れを待つまでとなりました。

お昼のお楽しみは、小川フィールドで採れたクレソンのお汁、クレソンサラダと健康に気遣い野菜中心のメニューでいただきました。雨の中14名の参加、お疲れ様でした。

次回は6月14日です。3密を避け有志で行う予定です。



緑あふれる季節がやってきました、バラやレモンなど花がいっぱい咲いています。

5月9日「子供デイサービス ゆうゆう」にて木工クラフト指導を行いました、母の日プレゼントの木絵ペンダント製作（指導員山本、本廣、参加者13人）。

今月のクラフト部会は3密に注意し、風通しの良い屋外、有志の集まりとして行いました、木置き場も完成し、棚置き場増設作業に取り掛かっています。なお、

今月のイベント（都市緑化フェア、砂谷、健康科学館）は残念ながら中止となりました。5月の

一般参加者は13人、会員参加者25人。



材料制作中の磯貝さん。



竹を使った新作「おひな様」(左)と同じく竹を使った新作「かくや姫」。山村整形のデイサービスにて制作しました。他にも新作考案中です。





樹木いきいき講座 <その1>

藤原 満男：3班



樹木医でもあり、剪定のプロとしてご活躍の藤原さん（3班：班長）に、樹木に関する事から剪定のコツなどを交えたエッセイ風コラムをお寄せいただき連載します。森林整備を行い樹々や自然と関わる私たちにとって、山を活かし植物を活かす知識は大切です。活動の時やご自分の庭での剪定に是非お役立て下さい。

今年の1月に行った恵下山例会での時、眺望をよくして高瀬堰が見えるように一部を皆伐しました。「あんなに伐って、大丈夫ですか？」と一緒に作業していた人に聞かれました。

「日本のように温暖で雨量があれば、いいんです。」針葉樹は無理ですが、薪や炭として使うクヌギ・コナラなどは20年余で更新していました。タケは秋・冬に樹齢3年生以上を伐れば持続可能な利活用ができます。

庭園樹、特に街路樹は剪定に強い樹が選ばれて

います。バラが軒より高くなっているのを見かけますが大寒のころに思いきって短く剪れば花を楽しめます。

立春を過ぎたころ TV で柿や桃などの果樹の剪定風景を見ます。雑菌が少ないことが一因です。

反対に、繁茂し過ぎて困るタケは、枝葉が伸びて地下茎の栄養を出しきった7月に皆伐します。2年目はぐっと減って3・4年で枯れると言われて

います。《質問受け付けます。どんな事でも結構です。もりの手紙までどしどしお寄せください。》

あんぜんの確保 ~ mini ~

第5回：伐倒 ~その2~ 自分の身は自分で守る

～一人ひとりがリスクに気づき、安全へのスキルアップを図るための“基本のき”～

◎ 指差し安全確認をしっかり行う。

前回は伐倒前の5つの安全確認をお伝えしました。1) ^{しょうほう}上方確認、2) 足元の確認、3) 周囲の確認、4) 伐倒方向の確認、5) 退避場所の確保。「上方よし!」「周囲よし!」等、大きな声での指差し安全確認は、自分にはもちろん周囲にもしっかり伝わり、ミスを防ぐ為の準備作業の再確認にもなります。

◎ 木は倒すのではなく、寝かせる。

伐倒は、掛かり木や切り株などによる伐倒木の跳ね上がり等の危険を見極め、確実に自分が決めた方向に倒す事が何より安全です。その為には事前にロープ掛けの作業も必要になります。特にヒノキはスギと比べて枝が張って掛り木になりやすいので状況判断が必要です。木は、ゆっくりと安全に静かに寝かせる。その為には、受け口できちんと方向を定め、追い口で適正な『ツル』を作ります。

◎ 受け口、追い口、ツルを作る。

『ツル』は木が倒れる時の樹木を支え、狙い通りの方向に倒すための蝶つがいの役割を果たします。正しいツルを残して伐倒するためには、受け口と追い口の作り方を習得することが安全な伐倒のための最重要点です。

一昨年施行された「労働安全衛生規則」では、胸高直径20cm以上の木については必ず受け口、追い口、ツルをつくって切り倒すよう定められています。受け口、追い口を如何に正確に作るかは、チェーンソーを扱う技術にもかかってきます。構え方や如何に平行を保てるか等、体験が必要です。練習は例会や部会への参加の他、講習会への参加やイメージトレーニングも有効です。コロナ禍で中断を余儀なくされていますが、

「ひろしま森づくり安全技術・技能推進協議会 <http://hiromorian.org/>」では研修を随時行っています。是非検索してみてください。





初代クラフト部会長の職員さんから部会長を引き継いで6年目。物作りが大好きで創意工夫に余念がなく、様々なイベントに対応して部会を牽引されておられます。

『最初の一步を踏み出すきっかけを「もりメイト倶楽部」よりいただきました、皆様と触れ合うことで知識も広がり、人生を豊かにすることができたこと大変感謝しています。新型コロナの影響で、毎年恒例のフラワーフェスティバルや花の輪の他、様々なイベントへの参加が取り止めとなりました。これからのイベントにはその分、充分に対応できる準備を備えています。来て下さる皆さんの笑顔が早く見たいですね。特に、毎週行っているクラフト部会では、体調に気を配り、それぞれ思っている事を話し合い、和やかな雰囲気づくりに努めています。楽しいです。』



『島村楽器パルコ店に通い5年。上達には程遠いですが、毎年夏の時期にドラムとエレキギターなどレッスン生同士でアンサンブル発表会を行っています。ステージに上がると緊張して頭が真っ白になり、演奏途中で手が止まり取り残されることもありました。昔聴いていたベンチャーズの曲を練習しています。』

育成講座は何期生でしたか？ 15期生です。知り合いに誘われ受講しました。当時指導員をされていた松岡さんからのお誘いがあり入会。

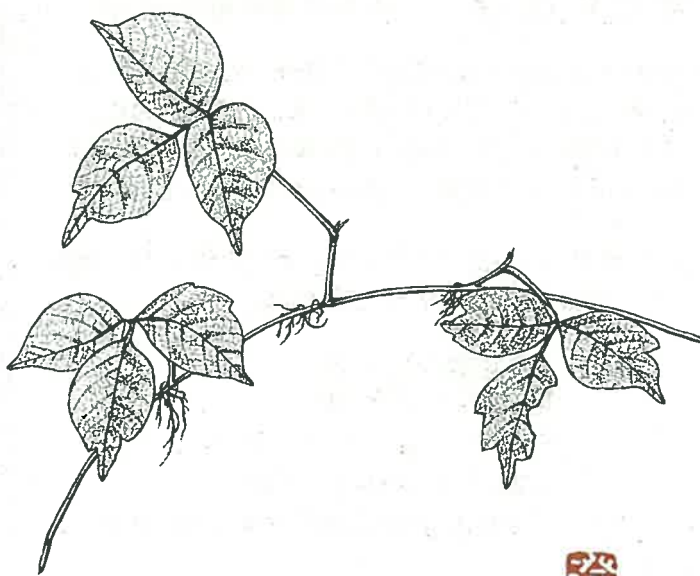
これまでで印象深い出来事は？ ゆうゆうイベントの日を間違え、山本理事長より連絡を受け大急ぎで工具や材料を準備し、ぎりぎりで間に合いました(汗)。ゆうゆうでは、思いがけずゴイ作品が仕上がりが感動したり、デイサービスではこぼれる笑顔に励まされています。また、広島フラワーフェスティバルのイベントで、参加者に材料使い過ぎに注意した会員とお父さんが言い争いになった事がありました。お帰りまでに何とか話ができるようになりホッとしました。

今後の展望は？ 一人ひとりの力は小さいですが、みんなが集まればお互いに刺激となって複雑なことでも最後までやり遂げることができます。一緒に頑張らしましょう。《ご趣味はギター、写真をご覧下さい!》

今ひと枝 原田 澄

ツタウルシ (蔦漆) ＜ウルシ科・ウルシ属＞

落葉つる性木本。日本各地の山地の林内に生え、気根を出し岩や樹木の幹をはい上がる。葉は三出複葉で成木では全緑だが、幼木の葉には粗い鋸歯があり、ツタの幼木とよく似ているので要注意。(ツタの鋸歯の先端は小さな突起になる。)葉身は長さ5~15cm。樹液に触れると激しい炎症を起こしかぶれる。ウルシ科の仲間ではその威力は最強と言われている。だが秋の紅葉は美しい。名はツタに似たウルシという意味。・・・▼コロナ禍で世界中が騒然としているうちに、早春から初夏へと瞬く間に季節は巡った。▼新緑の最中、ジャケツイバラが山のあちこちで美しい黄色の花を咲かせ、マタタビの葉も銀色に輝き出した。足元に這っていたツタウルシも気根を伸ばし様子を伺う。▼それぞれに困難や大変さを抱えているだろうが、明けない夜はなく、冬が去れば春が来るという確かさ。大きな自然の移ろいは限りなく私たちを癒してくれる。 ~佐伯区湯来町 2020・5月末~





—6月— 活動の予定

クラフト 部会

■ 6月20日(土)【ゆうゆう木エクラフト】
【広島市中区】

～皆様の参加お待ちしております～

■ 6月6日(土)、20日(土)、27日(土)
【安佐南区山本町鹿ヶ谷】材料作り、
■ 連絡先：本廣 090-4141-8603

里山部会

■ 日時：6月14日(日) 9時～

■ 場所：「小川フィールド」

安佐北区白木町中三田地区

■ 作業：竹炭の窯出し及び選別・チ
ェーンソー製材・支障木の
除伐及び整理です。

■ 持参品：水筒・弁当・山の道具 他

■ 連絡先：岩田 080-5751-3798

※竹炭の釜の火入れは、5月13日
済ませました。

環研 部会

今年度のスタッフのスキルアップ等の研修、そしてもりメイト
キッズは、新型コロナウイルス感染の影響と余波の油断が許せな
い状況の中、開催を見合わせています。

今後に備えていくため、様子を見ながら役員で検討中です。今し
ばらくお待ち下さい。開催の際には是非ご参加いただき、共に自然
での体験活動を通して感動の世界を創っていきましょう。



～ もりの手紙 ～

原稿、感想を是非お寄せ下さい

↓ アドレスはこちらです。

tegami@morimate-ch.com



7月号の会報発送作業は
下記の通り、実施します。

日時：7月1日(水)

18:30～20:00

場所：市民交流プラザ 3F
(袋町小学校隣り)



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って
人工林の間伐や都市公園の除伐整備など地域の人と一緒に活動を展開しています。また、会員への技術
研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用したクラフトの作成指導なども行っています。
私たちの活動に共感、賛同して頂ける方のご寄付または会員として活動して頂ける方を募集しています。

会員の種類

【正会員】：倶楽部の目的に賛同して積極的に活動するために入会した個人及び団体。

【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

【個人会費】：3,000円

【企業会費】：50,000円

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】info@morimate-ch.com

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3 2 8 3 3 8 3

【ゆうちょ銀行】1 5 1 7 0 - 1 8 0 2 9 2 9 1

《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》